

同時発表：北海道開発局、各地方整備局、
内閣府沖縄総合事務局

令和5年11月24日
総合政策局公共事業企画調整課
大臣官房公共事業調査室

ふるさと
令和5年度 手づくり郷土賞（国土交通大臣表彰）15件を選定！
～12月23日に受賞記念発表会を開催～

国土交通省は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を推進するため、全国各地から応募のあった活動の中から、15件（大賞部門2件、一般部門13件）の優れた活動を令和5年度の「手づくり郷土賞」として選定しました。

また、受賞記念発表会を12月23日に開催します。

■令和5年度「手づくり郷土賞」の選定

10月27日に有識者による選定委員会を開催し、全国各地から応募のあった35件（大賞部門7件、一般部門28件）の中から、優れた活動15件（大賞部門2件、一般部門13件）を「手づくり郷土賞」として選定しました。 ※活動の詳細は、資料1、資料2をご覧ください。

今後、各地方整備局等を通じて、受賞団体への認定証の授与が行われます。詳細については、改めて各地方整備局のホームページ等でお知らせします。

■令和5年度 手づくり郷土賞 受賞記念発表会の開催

全国に優れた取組が広がることを目的に、手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行っていただく発表会を開催します。

1. 日 時：令和5年12月23日（土）13時00分～16時15分（予定）
2. 場 所：東京国際交流館プラザ平成 3階 国際交流会議場（東京都江東区青海 2-2-1）
3. 内 容： 1）令和5年度の受賞団体による活動プレゼンテーション
2）ベストプレゼン賞の決定

4. 参加申込み

- ・会場観覧またはオンライン視聴によりご参加いただけます。
- ・会場観覧ご希望の方は、12月15日（金）までに申込みが必要です。（会場観覧定員 350名）※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・オンライン視聴は申込不要ですが、

CPD単位取得をご希望の方は事前にお申込みください。

※建設コンサルタンツ協会 CPD・土木学会 CPD・都市計画 CPD の認定プログラム申請中

- ・申込み・オンライン視聴はこちらのサイトから → <https://tedukuri-furusato.jp>
二次元コード（QR）からもアクセスできます。



○問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 佐々木、吉田

TEL 03-5253-8111（内線 24563、24535）、03-5253-8912（直通）

○中部配付先：中部地方整備局記者クラブ

○中部問い合わせ先：中部地方整備局 企画部 山口、日比野 TEL 052-953-8127（直通）

令和5年度 手づくり郷土賞 選定結果

資料1

<大賞部門>

No	地整等名	都道府県	市区町村	応募案件名(一般部門受賞年度)	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	九州	熊本県	やまがし 山鹿市	こめこめそうもん 米米惣門ツアー ～永遠に続くストーリー～(H26)	しもまちそうもんかい 下町惣門会	九州地方整備局 きくちがわ 菊池川河川事務 所・山鹿市
2		宮崎県	さいとし 西都市	きき 記紀の道 ～地域の宝をつなぎ心を育む～(R1)	つまきた 妻北地域づくり協議会/映 画「みちのみちのり」製作 委員会	さいとし 西都市

<一般部門>

No	地整等名	都道府県	市区町村	応募案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	はこだてし 函館市	はこだて花かいどう～20年目のおもてなし～	はこだて 函館花いっぱい道づくりの 会	—
2		北海道	くしろし 釧路市	くしろ ^{もとまち} 元町の歴史と自然を活かしたフットパス活動	くしろ ^{もとまち} 元町青年団	—
3	関東	千葉県	きみつし 君津市	人が集まり交流する都市公園へ～地域をつなぐホテル復活プロジェクト～	おおどうさわ 大道沢公園ホテルプロ ジェクト	—
4		茨城県	もりやし 守谷市	市民手づくりの本格的自然歩道「守谷野鳥のみち」～市街地隣接大規模未利用緑地の戦略的活用～	民間非営利任意団体・もり やし 谷市観光協会	もりやし 守谷市
5	北陸	新潟県	じょうえつし 上越市	無人駅で賑わいの創出	特定非営利活動法人 ^{なか} 中 郷区まちづくり振興会	—
6		岐阜県	たかやまし 高山市	「人と自然の交流拠点」しのぶ ^{さばうえんてい} 砂防堰堤	おくひだおんせんごうひとえがねちよう 奥飛騨温泉郷一重ヶ根町 ないかい 内会	—
7	中部	愛知県	いちのみやし 一宮市	手づくり文化の発信から公共地の官民連携活用へ	しみんれん 志民連いちのみや	いちのみやし 一宮市
8	近畿	兵庫県	しろうし 宍粟市	ひらかれた ^{のうさんそん} 農山村地域社会の実現をめざして	特定非営利活動法人 ^{おくほり} 奥播 磨 ^{まゆめくらぶ} 夢倶楽部	—
9	中国	島根県	はまだし 浜田市	「幻の ^{こうひんてつどういまふくせん} 広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化	いまふくせん 今福線を活かす連絡協議 会	はまだし 浜田市
10		島根県	うんなんし 雲南市、 おくいずもちよう 奥出雲町	おぼら 尾原ダム地域活性化の取組み～地域とともに10年、 そしてこれからも。～	さくらおろち湖活性化ネッ トワーク会議	中国地方整備局 いずも 出雲河川事務所
11	四国	愛媛県	やわたはまし 八幡浜市	港を拠点とした市民によるまちづくり活動～みなとま ち八幡浜の再生～	やわたはまこう 八幡浜港みなとまちづくり 協議会	やわたはまし 八幡浜市
12		高知県	さかわちよう 佐川町	まきのとみたらうはかせ 牧野富太郎博士への思いを紡ぐ公園づくり～みんな で育てる ^{まきのこうえん} 牧野公園～	まきのこうえん 牧野公園はなもりC- ら ぶ LOVE	さかわちよう 佐川町
13	沖縄	沖縄県	なはし 那覇市	こくぼがわ 国場川河口域で自然・環境学習の場づくり活動	特定非営利活動法人おき なわ環境クラブ	—

No.1

（熊本県・山鹿市）

米米惣門ツアー ～永遠に続くストーリー～



実際に触れてもらう言葉によらないガイド

海外企業進出によるインバウンド客増加が期待

<活動内容>

平成12年、テレビドラマで下町商店街がロケ地となったことがきっかけで、ガイド付きの街案内ツアー「米米惣門ツアー」の運営を開始。豊前街道を活用したまち歩きツアーは、店主たちが代わる代わるガイドを務めるリレー方式で実施。外国人により感動が伝わりやすいように、実際に触れてもらい言葉に頼らないガイドを開始。ツアー参加者数は、新型コロナの影響により一時低迷したが、現在は回復傾向。豊前街道において歴史文化の継承や歴史的町並みなどの広報を続け、地域活性化に貢献している。

<地域活動団体>

下町惣門会

<対象となる社会資本>

豊前街道 管理者：九州地方整備局・山鹿市

<一般部門等の受賞年度> 平成26年度

No.2

（宮崎県・西都市）

記紀の道 ～地域の宝をつなぎ心を育む～



逢初ガーデン種まきと取材する映画クルー



夜の静かな記紀の道を、多くの灯籠が彩る

<活動内容>

西都原古墳群と中心市街地を結び、神話にまつわる伝承地を巡る「記紀の道」。自然景観の保全及び創出、普及啓発・人材育成の活動が中心。新型コロナの影響で活動が中止となり、人材育成や地域活動の継承が断絶。映画をつくり地域の愛を未来に伝えようと「記紀の道」のドキュメンタリー映画を撮影し、郷土を学ぶ「さいと学」の授業で取り上げられる。記紀の道をランタンで飾りたいという学生のアイデアや新規のボランティア活動が生まれるなど、多くの市民に認知され、地域の宝は再びつなぎ、心を育くみだした。

<地域活動団体>

妻北地域づくり協議会/映画「みちのみちのり」製作委員会

<対象となる社会資本>

逢初川歩行者専用道路 管理者：西都市

<一般部門等の受賞年度> 令和元年度

No.1 (北海道・函館市)

はこだて花かいどう～20年目のおもてなし～



<活動内容>

函館市において、平成16年から、「綺麗な花を見て旅の疲れを癒やし、喜んでもらいたい」というおもてなしの気持ちで花を育む地域づくりを目的として、花による道路の美化・清掃活動を開始し、20年目の今年は約800人、7,500株にまで発展している。現在は冬季にもフラワーアイスキャンドル等を設置し、年間を通じて道路利用者を楽しませるとともに、幅広い世代の貴重な交流の場となっている。また、花植え以外に環境教育や防災体験イベントも行い、地域の将来を担う子供達の意識高揚にも寄与している。

<地域活動団体>

函館花いっぱい道づくりの会

<対象となる社会資本>

国道5号(函館新道)

※管理者:北海道開発局函館開発建設部

No.2 (北海道・釧路市)

くしろ元町の歴史と自然を活かしたフットパス活動



<活動内容>

釧路発祥の地であり、歴史や自然豊かな景観が魅力の元町地域において、人口減少に危機感を持った若者達が「若者・子育て世代が元町に来て、過ごしたくなるまちづくり」をテーマに「くしろ元町青年団」を結成。地域の魅力を歩いて感じる「フットパス活動」(年6回、各30人程度)や健康づくりと防犯活動を兼ねた「ゆるゆるラン&ウォーク」(月1回、各15人程度)、廃線跡の遊歩道化に向けた「つなぐ道プロジェクト」等に取り組んでいる。学生や子供達も参加し、地域資源の発掘や魅力発信に寄与している。

<地域活動団体>

くしろ元町青年団

<対象となる社会資本>

道道25号釧路港線、釧路市道弥生宮本通・米町本通他

※管理者:北海道釧路総合振興局、釧路市

No.3 (千葉県・君津市)

人が集まり交流する都市公園へ
～地域をつなぐホテル復活プロジェクト～



<活動内容>

大道沢にホテルが飛び交う環境を取り戻すため、地域で活動する仲間が集い活動を開始。公園内の小川に蛇籠を敷設し、土手の土壤改良を行う等、ホテルが生息できる環境を整備。公園全域のごみ収集なども行っている。また、小学校との協働活動として、生きもの調査やホテル幼虫の放流、環境や地域についての環境学習を行い、子ども達と地域に根ざした活動を展開。地域の文化祭等でパネル展示も実施。ホテルが飛び交う都市公園を実現させたことで、地域コミュニティが形成され、地域の交流が深まっている。

<地域活動団体>

大道沢公園ホテルプロジェクト

<対象となる社会資本>

大道沢公園・大道沢北公園

※管理者:君津市

No.4 (茨城県・守谷市)

市民手づくりの本格的自然歩道「守谷野鳥のみち」
～市街地隣接大規模未利用緑地の戦略的活用～



<活動内容>

放置された大規模未利用緑地に不法投棄ごみが増加し、住環境が悪化。近隣小中学生とごみ撤去から始め、本格的な木道を整備し、補修・防塵塗装、周辺の草刈り等の維持管理作業を実施している。自然歩道を整備したことで、市内外から年間5～10万人が訪れるようになり、転入者も見られるようになった。近隣小中学生、企業(つくばエクスプレス等)、守谷市と協力しながら、大規模緑地を維持しつつ、緑地保全意識の増進、景観・雰囲気を加味した良質な社会資本の形成とその魅力づくりに貢献している。

<地域活動団体>

民間非営利任意団体 守谷市観光協会

<対象となる社会資本>

守谷野鳥のみち・守谷城址公園

※管理者:守谷市

No.5 (新潟県・上越市)

無人駅で賑わいの創出



<活動内容>

えちごトキめき鉄道(株)の開業に合わせ、無人駅である二本木駅を地域の新たな観光資源にする取組を平成27年より開始。駅利用者の減少が進む中、スイッチバック駅としての知名度による地域外からの来訪者を迎える休息の場として、駅舎内の空きスペースを活用し、平成28年より「喫茶なかごうさとまる一む」の運営を開始。地域居住者や二本木駅来訪者の憩いの場・交流の場となっており、年中無休も相まって年間4,000人以上の来訪者がある。また、地域の活動団体と連携し、鉄道まつりなど賑わいを創出し地域活性化に寄与している。

<地域活動団体>

特定非営利活動法人 中郷区まちづくり振興会

<対象となる社会資本>

二本木駅 ※管理者:えちごトキめき鉄道株式会社

No.6 (岐阜県・高山市)

「人と自然の交流拠点」しのぶ砂防堰堤



<活動内容>

平成11年に「しのぶ砂防堰堤」が竣工した事を契機に、地域活性化を目的として砂防施設周辺の利活用の取組を開始。冬期は、当地の名所である「たるまの滝」や氷のオブジェのライトアップを「しのぶ砂防堰堤」を含め一体的に行うとともに、堰堤監査廊内にLED装飾を行い、幻想的な空間で、観光客から好評を得ている。また、砂防堰堤監査廊を活用し、蕎麦の実を熟成保存したものを春と秋に開催する蕎麦祭りでも提供している。これにより、ライトアップでは、毎年2,500人、そば祭りでは、800人を超える参加者があり、地域活性化に寄与している。

<地域活動団体>

奥飛騨温泉郷一重ヶ根町内会

<対象となる社会資本>

しのぶ砂防ダム親水公園、しのぶ砂防堰堤

※管理者:高山市、国土交通省北陸地方整備局神通川水系砂防事務所

No.7 (愛知県・一宮市)

手づくり文化の発信から公共地の官民連携活用へ



宮前三八市広場に集まる来場者

市民団体による音楽演奏

<活動内容>

来街者数が少ない一宮市中心市街を、「手づくり」文化の発信拠点とし、地域を活性化させることを目的に平成17年より発足。行政と連携し、遊休地となっていた宮前三八市広場等の公共施設を、地域住民がイベントとして利用できる場として提供し、施設の良好な維持に貢献。例年開催している「社の宮市」には、約380の出店ブースが設けられ、約4万人の来場者を集める。イベントには地元小学生から高校生から自主的にボランティアとして参加するなど地域住民が一体となり、地域活性化に寄与している。

<地域活動団体>

特定非営利活動法人志民連いちのみや

<対象となる社会資本>

宮前三八市広場、市道0135号線

※管理者:一宮市

No.8 (兵庫県・宍粟市)

ひらかれた農山村地域社会の実現をめざして



風景街道「R29新因幡ライン」フェスタ

フットパス全国大会プレイベント 播磨一宮土記の里ウォーク

<活動内容>

奥播磨には、棚田景観、紅葉の映える渓谷や滝・清流など、まだまだ認知されていない魅力的なスポットがたくさん存在している。地域資源を発掘し、それらを活用した「フットパス」や「フェスタ」を開催し、地域の魅力発信を行っている。「フットパス」は2015年から年3～5回程度実施しており、兵庫県内からだけでなく、全国からの参加があり、地域間交流を推進している。

近年は河川の植物観察や美化活動へ派生させ、若い世代の参加も増えており、持続可能な地域づくりを目指している。

<地域活動団体>

特定非営利活動法人奥播磨夢倶楽部

<対象となる社会資本>

一般国道29号、揖保川

※管理者:近畿地方整備局姫路河川国道事務所

No.9 (島根県・浜田市)

「幻の広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化



今福線ウォーキング開会式

全国未成線サミットでの現地エクスカージョン

<活動内容>

戦争等の理由により未成線となった幻の鉄道遺産、今福線。平成20年に今福線コンクリートアーチ橋が推奨土木遺産認定されたことを契機に、この鉄道遺産を観光交流や地域活性化に活かすべく「今福線を活かす連絡協議会」を平成28年に結成。協議会は地元団体と技術士会から成り会員数31名。鉄道遺産の維持管理や調査・研究をしながらツアー受け入れや学生へのふるさと学習を実施。令和5年2月のウォーキングイベントには、参加者183名のうち県外から17名の参加もあり、インフラツーリズムとして好評。

<地域活動団体>

今福線を活かす連絡協議会

<対象となる社会資本>

広浜鉄道今福線遺構 ※管理者:浜田市

No.10 (島根県・雲南市、奥出雲町)

尾原ダム地域活性化の取組み
～地域とともに10年、そしてこれからも～



尾原ダムクレストゲート点検放流風景

環境美化活動(企業CSR)、表彰式

<活動内容>

斐伊川上流に平成24年3月末に完成した尾原ダムで、地域住民・活動団体が尾原ダム水源地域ビジョンに基づき、地域活性化に関するさまざまな取り組みを実施している。

毎年3月第1土曜日に開催する「尾原ダムクレストゲート点検放流」(毎年3月)は年々来訪者が増加、毎年10月に開催される「さくらおろち湖祭り」は約3,000人を集客するダム湖周辺における最大のイベントとなっている。また、ダム湖や周辺施設を利用したスポーツイベントや環境保全活動などを実施し、周辺地域の活性化に寄与している。

<地域活動団体>

さくらおろち湖活性化ネットワーク会議

<対象となる社会資本>

尾原ダム(さくらおろち湖) ※管理者:中国地方整備局

No.11 (愛媛県・八幡浜市)

港を拠点とした市民によるまちづくり活動
～みなとまち八幡浜の再生～



第13回みなとオアシス Sea級グルメ全国大会in八幡浜

地元高校生のフェリー客見送り活動

<活動内容>

八幡浜市は人口減少・高齢化により低迷、まちの活気も減退する中、「みなとまち八幡浜の再生」を合言葉に、平成15年に市民が中心となり「八幡浜港みなとまちづくり協議会」を設立。「八幡浜みなと」では四国初の「みなとオアシスSea級グルメ全国大会」や各種団体と連携したイベントを積極的に開催し、本年10周年を迎えて累計1,000万人の来場者数を達成。また、全国各地のみなとオアシスを訪問し、各種シンポジウムで事例発表や講演を行い、各地でネットワークを広げるための活動にも取り組んでいる。

<地域活動団体>

八幡浜港みなとまちづくり協議会

<対象となる社会資本>

道の駅・みなとオアシス八幡浜みなと ※管理者:八幡浜市

No.12 (高知県・佐川町)

牧野富太郎博士への思いを紡ぐ公園づくり
～みんなで育てる牧野公園～



牧野公園での整備活動

小学校の総合学習へ協力

<活動内容>

牧野公園は、牧野富太郎博士に由来しており、桜の名所として古くから知られていた。しかし、桜が散ると閑散としており、老木が目立つ様になる中、桜だけでは無く博士が愛した山野草も楽しめる公園にしよう平成26年から活動を開始。毎週水曜日に整備活動を行い、小中学生へ教育の場として提供。公園案内、他団体と連携したイベント開催をするなど活発に活動してきた。朝ドラ「らんまん」の要望にも携わり、今年度の公園観光客は7月末で前年の2倍以上7.5万人を超え、観光振興・地域活性化にも寄与している。

<地域活動団体>

牧野公園はなもりC-LOVE

<対象となる社会資本>

牧野公園 ※管理者:佐川町

No.13

（沖縄県・那覇市）

国場川河口域で自然・環境学習の場づくり活動



自然観察と組合せた
楽しみながらのボランティア活動



環境学習プログラムで植樹

<活動内容>

平成11年に設立し、平成14年にNPO法人の認証を取得。地域の自然と環境に対して、実践活動を通して自然環境への理解を深め、自然と環境の保全及び環境教育を推進することを目的に活動。同年には活動地域である湿地「漫湖」がラムサール条約に登録。

国場川河口域にある緑地帯の美化活動（総数1,000本のサガリバナ等を植栽）や水辺の緑化ボランティア活動を行っており、毎年度延べ100人を超す様々な世代の地域住民や団体等とコミュニケーションをとりながら継続的に活動を実施している。

<地域活動団体>

特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ

<対象となる社会資本>

那覇市鏡原町国道329号遊歩道沿い緑地帯

※管理者：内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所

全国の地域づくりに関心のある方へのメッセージ

ふるさと
手づくり郷土賞

令和5年度



手づくり郷土賞

受賞記念発表会

入場料
無料

令和5年12月23日(土)
13時00分〜16時15分(予定)
東京国際交流館プラザ平成
国際交流会議場
東京都江東区青海2-2-1

◆「手づくり郷土賞」とは

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれらと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設され、令和5年度で38回目となる国土交通大臣表彰です。

◆手づくり郷土賞受賞記念発表会について

開催日時 令和5年12月23日(土) 13:00~16:15(予定)

全国に優れた取組が広がることを目的に、第38回手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行って頂く発表会を開催します。

内容：1) 第38回(令和5年度)受賞団体による活動プレゼンテーション

2) ベストプレゼン賞の決定

※終了時間はプレゼンテーション参加団体数に応じて、変更になる場合がございます。

※プレゼンテーションは、当日会場で発表を行う「発表部門」と事前に撮影した動画による「動画部門」の2部門に分けて実施予定です。

お申し込み方法

会場観覧またはオンライン視聴によりご参加いただけます。

・会場観覧をご希望の方は、下記サイトより事前にお申込みください。

・オンライン視聴をご希望の方は、下記サイトから視聴いただけます。

申込みは不要ですが、CPD単位取得*をご希望の方は下記サイトより事前にお申込みください。

<https://tedukuri-furusato.jp>

※建設コンサルタンツ協会CPD・土木学会CPD・都市計画CPDの認定プログラム申請中

こちらからも
アクセスできます▶



お申込み締切

令和5年12月15日(金) 会場観覧定員:350名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

開催会場

東京国際交流館プラザ平成 国際交流会議場

所在地:〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

アクセス:ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル」東口より 徒歩約3分

りんかい線「東京テレポート」B出口より 徒歩約15分

お問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課

メール:hqt-tedukuri-sogo@gxb.mlit.go.jp

※送信するメールの件名は、

「令和5年度 手づくり郷土賞 受賞記念発表会」の問い合わせとしてください。



前回の受賞記念発表会の様子



手づくり郷土賞の情報はこちら

手づくり郷土賞ホームページ

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/>



手づくり郷土賞フェイスブック

<https://ja-jp.facebook.com/mlit.tedukuri/>



◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和5年度で38回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和5年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 執行役員 地域交流共創部長
委員	小浦 久子	神戸芸術工科大学 芸術工学部環境デザイン学科 教授
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授

(敬称略)